

年頭あいさつ



議長
伊藤 毅

明けましておめでとございます。市議会を代表いたしましたして、謹んで新年のお喜びを申し上げます。

昨年は、国の内外とも多事多難の年であり、特に新潟県中越地震で被災された多くの方々には、いまだに不便な生活を強いられています。被災された方々に対し、改めてお見舞いを申し上げます。また、回復が続いていると報じられる国内の景気は、地方に暮らす私たちにその実感はなく、依然として厳しい状況が続いています。さらに昨年は、例年になくない数の台風が日本に襲来し、本市にもさまざまな被害をもたらした年でもありました。

このような状況の中で迎えた平成17年は、本市にとって極めて重要な年になります。すなわち、大館市・比内町・田代町の1市2町の合併による新市のスタートの年となるからです。社会・経済・生活面などさまざまな分野において既に一つの生活圏と言える1市2町が合併を迎える

ことは誠に喜ばしく、関係各位のこれまでのご努力に対し、深く敬意を表するものであります。また、多くのかたが待ち望んだ中高一貫教育校「大館国際情報学院」と4年制大学「秋田看護福祉大学」がいよいよ今春開学を迎えます。これもまた大変喜ばしいことであり、その効果に大いに期待するものであります。

新たな年も、1市2町の合併を始め、少子高齢化対策、中心市街地活性化方策、農林業や商工業などの既存産業の振興など課題が山積しています。また、国が進める三位一体改革や地方分権の推進により、地方自治体の自治能力の向上が一層強く求められています。市民を代表する議会人といたしましては、執行機関と相強調して、最大限の行政効果を上げるため、努力すべき年であると考えています。

輝かしい新春を迎え、心新たに、「大館市を誇りとし大館市に住む喜びをかみしめることのできるような魅力あるまちづくり」の実現」を、目指して、なお一層頑張りますので、市民の皆さんの変わらぬご支援とご協力を、よろしくお願い申し上げます。